

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE

# 東京農業大学教職課程

## *Annual Report*

令和5年度版



主体的思考力  
Independent Thinking  
インディペンデント・シンキング



技術革新  
Innovation  
イノベーション

# 新・生きる力

## 東京農業大学教職課程



多様性  
Diversity  
ダイバーシティ



コミュニケーション力  
Communication Skills  
コミュニケーション・スキル



### これからの社会を生きるための資質と能力

東京農業大学教職課程では「新・生きる力」をテーマに、農業科、理科、技術科、社会科、栄養の各教科等の専門性を生かした学びに加え、教科等を横断、統合した「主体的思考力」(Independent Thinking)・技術革新 (Innovation)・コミュニケーション力 (Communication Skills)・多様性 (Diversity)」を身に付けた教員養成を目指します。

\*これからの社会を生きるための鍵となる能力（キー・コンピテンシー Key Competency）は、OECD が 2000 年から開始した PISA 調査の概念的な枠組みとして定義しました。調査で測っているのは「単なる知識や技能だけではなく、技能や態度を含む様々な心理的・社会的なリソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な課題に対応することができる力」です。わが国の学習指導要領においても学力の 3要素として「基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる」「知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む」「学習に取り組む態度を養う」ことが重視されています。また、2018 年から PISA 調査に新たにグローバル・コンピテンス (Global Competence) が加えられ、より国際的視野を持ち、生涯にわたり地球規模での課題解決に取り組もうとする資質・能力を身に付けることが求められています。（文部科学省ホームページ参照）

# 令和4年度 農大教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な活動報告

令和4年度はwithコロナの方針のもと、教職課程主催の教育研究フォーラム及び各種講習等は延期・中止せず、対面に加えて、ZOOMライブ配信や教材配信によるハイブリッド方式により実施しました。

## 4月 新入生教職課程ガイダンス

教育委員会による教員採用学内説明会（～5月）  
令和5年度教員採用試験大学推薦学内説明会及び選考

## 5月 教員採用試験教育法規・学習指導要領勉強会

教育ボランティア募集説明会  
4年生教育実習開始

## 6月 教員採用試験1次対策講座開講

新入生教職課程履修申込ガイダンス  
1年生教職課程履修申込

## 7月 介護等体験への派遣開始

## 8月 オープンキャンパス

教員採用試験2次対策講座開講

## 9月 令和4年度教員採用試験対策講座開講

教採対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ



## 10月 1年生教職課程履修開始

## 11月 第24回東京農大教育研究フォーラム

教採対策講座・教員採用試験合格者から学ぶ  
教育委員会による教員採用学内説明会（～12月）

## 12月 世田谷・厚木合同第5回教育実習全体指導

## 2月 合格体験発表会

## 3月 卒業式（教員免許状授与）



## ■本学で取得できる免許状\*

### ■普通免許状

学科	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
農学部		
農学科	理科	理科・農業
動物科学科	理科	理科・農業
生物資源開発学科	理科	理科・農業
デザイン農学科	—	農業
応用生物科学部		
農芸化学科	理科	理科・農業
醸造科学科	理科	理科
食品安全健康学科	理科	理科・農業
栄養科学科	理科	理科
生命科学部		
バイオサイエンス学科	理科	理科・農業
分子生命化学科	理科	理科・農業
分子微生物学科	理科	理科・農業
地域環境科学部		
森林総合科学科	理科・技術	理科・農業
生産環境工学科	理科・技術	理科・農業
造園科学科	理科	理科・農業
地域創成科学科	—	農業
国際食料情報学部		
国際農業開発学科	理科	理科・農業
食料環境経済学科	社会	地歴・公民・農業
国際バイオビジネス学科	—	農業
国際食農科学科	—	農業

### ■栄養教諭免許状

学科	免許状の種類
応用生物科学部	一種免許状
栄養科学科	

## 教員採用試験対策講座 —若手先輩教員から学ぶ—

教員採用試験対策講座では、毎年、本学の若手先輩教員に教員採用試験対策や教員生活について講演をいただき、受講生のやる気を高めています。第1回は9月10日に栗芝光海先生（理科）、佐藤桃子先生（農業）、守屋鼓太郎先生（特別支援）、第2回は12月4日に牧野皓太先生（技術）、新澤直斗先生（理科）、安部由香子先生（農業）にお越しいただきました。参加者からは、熱いグループ討議で教職の意義を再確認できたり、たいへん好評でした。

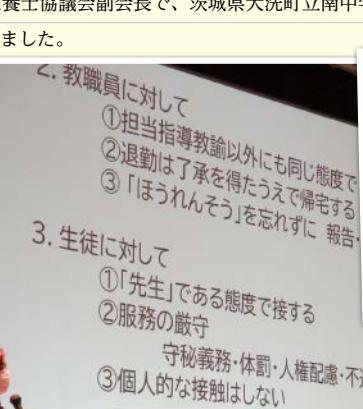


## 令和4年度 教職課程履修者数

学年	1年生(2022)										2年生(2021)										3年生(2020)										4年生(2019)										学科計			
	人數	農業 理科	中學 理科	高校 技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人數	農業 理科	中學 理科	高校 技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人數	農業 理科	中學 理科	高校 技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人數	農業 理科	中學 理科	高校 技術	社会	地歴	公民	情報	栄養	人數	農業 理科	中學 理科	高校 技術	社会	地歴	公民	情報
農学科	22	11	14	16	*	*	*	*	*	16	8	10	12	*	*	*	*	*	25	21	11	13	*	*	*	*	*	*	27	19	16	17	*	*	*	*	*	90						
動物科学科	18	10	11	11	*	*	*	*	*	22	11	11	15	*	*	*	*	*	26	12	16	17	*	*	*	*	*	*	25	13	11	13	*	*	*	*	*	91						
生物資源開発学科	16	4	10	14	*	*	*	*	*	22	4	17	20	*	*	*	*	*	21	6	17	20	*	*	*	*	*	*	16	6	12	14	*	*	*	*	*	75						
デザイン農学科	14	14	*	*	*	*	*	*	*	10	10	*	*	*	*	*	*	*	7	7	*	*	*	*	*	*	*	*	*	5	5	*	*	*	*	*	*	*	36					
厚木 計	70	39	35	41	0	0	0	0	0	70	33	38	47	0	0	0	0	0	79	46	44	50	0	0	0	0	0	0	73	43	39	44	0	0	0	0	0	292						
農芸化学科	10	6	6	7	*	*	*	*	*	14	2	14	14	*	*	*	*	*	9	2	8	9	*	*	*	*	*	*	9	2	9	9	*	*	*	*	*	42						
醸造科学科	8		7	8	*	*	*	*	*	16		16	15	*	*	*	*	*	12	*	9	12	*	*	*	*	*	*	2		2	2	*	*	*	*	*	38						
食品安全健康学科	6	1	6	5	*	*	*	*	*	12	3	10	10	*	*	*	*	*	9	1	7	8	*	*	*	*	*	*	2	0	2	2	*	*	*	*	*	29						
栄養科学科	11		5	5	*	*	*	*	*	11	23	1	1	*	*	*	*	*	23	13	*	3	*	*	*	*	*	*	11	10	0	0	*	*	*	*	*	57						
バイオサイエンス学科	16	1	14	16	*	*	*	*	*	22	2	20	21	*	*	*	*	*	15	0	14	15	*	*	*	*	*	*	10	1	10	10	*	*	*	*	*	63						
分子生命化学科	10	2	9	10	*	*	*	*	*	20	1	18	20	*	*	*	*	*	15	2	12	13	*	*	*	*	*	*	14	1	13	14	*	*	*	*	*	59						
分子微生物学科	13	1	12	13	*	*	*	*	*	14	7	11	12	*	*	*	*	*	14	2	13	13	*	*	*	*	*	*	16	3	16	16	*	*	*	*	*	57						
森林総合科学科	21	10	8	8	15	*	*	*	*	30	16	11	12	16	*	*	*	*	21	9	12	13	9	*	*	*	*	*	26	12	16	18	15	*	*	*	*	*	98					
生産環境工学科	25	10	9	10	20	*	*	*	*	22	10	16	16	17	*	*	*	*	19	8	11	14	4	*	*	*	*	*	20	13	10	10	12	*	*	*	*	*	86					
造園科学科	11	7	7	6	*	*	*	*	*	10	5	5	5	*	*	*	*	*	8	3	6	6	*	*	*	*	*	*	5	2	2	3	*	*	*	*	*	34						
地域創成科学科	7	7	*	*	*	*	*	*	*	8	8	*	*	*	*	*	*	*	9	9	*	*	*	*	*	*	*	*	*	6	6	*	*	*	*	*	*	*	30					
国際農業開発学科	23	17	13	15	*	*	*	*	*	26	15	18	17	*	*	*	*	*	21	12	13	13	*	*	*	*	*	*	14	10	7	7	*	*	*	*	*	84						
食料環境経済学科	18	5	*	*	*	*	*	*	*	23	7	*	*	*	*	*	*	*	25	13	*	*	*	*	13	17	10	*	*	17	11	*	*	*	7	7	2	*	*	83				
国際バイオビジネス学科	3	3	*	*	*	*	*	*	*	1	1	*	*	*	*	*	*	2	2	*	*	*	*	*	*	*	*	*	3	3	*	*	*	*	*	*	*	9						
国際食農科学科	10	10	*	*	*	*	*	*	*	9	9	*	*	*	*	*	*	*	13	13	*	*	*	*	*	*	*	*	*	5	5	*	*	*	*	*	*	*	37					
世田谷 計	192	80	96	103	35	8	11	10	0	11	250	86	140	143	33	10	14	4	0	23	205	76	108	119	13	13	17	10	0	11	159	69	87	91	27	7	7	2	0	10	806			
北方園農学科	19	19	*	*	*	*	*	*	*	18	18	*	*	*	*	*	*	*	12	12	*	*	*	*	*	*	*	*	*	15	15	*	*	*	*	*	*	*	*	64				
海洋水産学科	12	*	6	6	*	*	*	*	*	16	*	14	16	*	*	*	*	*	11	*	9	11	*	*	*	*	*	*	18	*	17	18	*	*	*	*	*	57						
食香粧化学科	30	*	15	15	*	*	*	*	*	10	*	10	10	*	*	*	*	*	4	*	4	4	*	*	*	*	*	*	8	*	8	8	*	*	*	*	*	52						
自然資源經營学科	5	*	*	*	*	2	*	3	*	8	*	*	*	*	*	6	*	8	*	8	*	*	*	6	*	*	*	*	3	*	6	*	*	3	*	6	*	*	27					
オホーツク 計	66	19	21	21	0	2	0	3	0	0	52	18	24	26	0	6	0	8	0	0	35	12	13	15	0	6	0	8	0	0	47	15	25	26	0	3	0	6	0	0	200			
大学 計	328	138	152	165	35	10	11	13	0	11	372	137	202	216	33	16	14	12	0	23	319	134	165	184	13	19	17	18	0	11	279	127	151	161	27	10	7	8	0	0	10	1298		

\*各学年、入金実績より算出

### 令和4年度教育実習全体指導



### 令和3年度 体験的学び 音楽療法士をお招きして



# 第24回東京農大教育研究フォーラム

2023年2月18日（土）に第24回東京農大教育研究フォーラムが世田谷キャンパスで開催されました。コロナウイルス感染防止策を講じ、対面とZOOMライブ配信によりハイブリッド方式で実施されました。今回は本学教職課程教授村上敏文先生と同助教加納一三先生のお二人がご講演されました。両先生ともに2023年3月でご定年退職ということもあり、多くの教え子、一般の方の参加がありました。



## プレゼン・取説・研究 東京農業大学教職・学術情報課程教授 村上敏文先生

今回のフォーラムでは、最終講義のような形でお話をさせていただき、たいへん感謝しております。自分の仕事を振り返ったとき、一番興味があつたのは、実はプレゼンと取説（マニュアル）であることに気付きました。そこで、フォーラムでは、研究を縦糸に、それらの話をしました。

小学生のころから、掲示物を作って、意図を伝えたり、行動を促したりするのが好きで夢中になっていたと思います。例えば、文化委員だった時、教室に「静かに」という掲示をカニの絵入りで出すといった具合です。取説も、わかりやすく手順を伝えるという点では、同じ考え方方が根底にあります。長じては、それらを研究や仕事の場面で作るようになりました。

研究では、新しい方法を開発するパターンが多かったのですが、方法は、人に使ってもらわないと意味がありません。そこで、プレゼンでわかりやすく紹介し、取説で普及することに力を入れていました。本学に来てからは、研究から教育に重点を移し、コロナ下の遠隔授業ということもあって、音楽あり、アニメーションあり、パロディありの個性全開プレゼン、リモートシステムの取説作りを楽しんでいました。

そういうわけで、学生時代から、プレゼンや取説をわかりやすくしようと主張していたのですが、周りの人からは、ほぼ相手にされませんでした。当時は、字や数字をびっしり詰め込んだブルースライドが当たり前の時代でしたから。今は、プレゼンや取説をわかりやすくするのは、当然との認識が浸透しており、隔世の感があります。それでも、わかりにくい取説や文書はまだまだ世の中にあふれています。改良するには、書き方を知り、作業手順や人間心理を分析する必要があるので、たいへんです。しかし、業務の効率化や働き方改革はそこから始まると思います。これを皆さんへのメッセージとしたいと思います。5年間ありがとうございました。



## 分布拡散に伴う種分化 教職・学術情報課程助教 加納一三先生

生物進化の仕組みは実は多様で、自然選択説のような分かりやすい考え方だけで捉えることは出来ません。今回は、分布拡散過程で種分化が進行したと考えられるミヤマシロチョウ（*Aporia*）属について、その仕組みを考察しました。

ミヤマシロチョウ属は旧北区に分布し、33種が知られています。大半の種は横断山脈を中心とした亜高山帯に限られた分布域を持ち、翅に斑紋の無いエゾシロチョウのみが北海道からスカンジナビア半島に至る広域に分布します。幼虫の食草は一部を除きメギ科であり、葉に含まれる毒素が体内に蓄積することで、天敵からの捕食は受けないとされます。

ミヤマシロチョウ属について、翅の斑紋ならびに雄ゲニタリアのウンクスの類似性を比較調査し、分布との対応を検討したところ、以下が明らかになりました。

- ① 分布拡散による種分化の過程が連続する地理的変異として残る。
  - ② どの方向の地理的クライムも翅の斑紋が退縮する方向性を持つ。
  - ③ 分布拡散の最末端種は斑紋のない翅を持ち、広い分布域を持つ傾向がある。
- 上記3現象に基づき分布拡散の過程を追うことができ、そこから3種の黒色で複雑な斑紋を持つ種を起源として、ヒマラヤ山脈の東と西から分布を拡げながら種分化が進んだと捉えました。仕組みとしては次のように考えました。移動しない個体群は一定の大きさの遺伝子プールが維持される

ことから遺伝的に変化し難い一方、新しい地域に分布域を作った個体群は、最初は小さな集団であるため遺伝的浮動により遺伝子構成が変化しやすく、新たな形質を生じやすいはずです。遺伝子構成が変化してから集団は大きくなり、大きな集団になった後は形質変化が生じ難いと考えられます。この連続の結果、分布拡散による種分化の過程が連続する地理的変異として残ると捉えました。また有毒種であることから、斑紋を維持する機能的制約からは中立となり、分布拡散過程で斑紋形成に関係する遺伝子に突然変異が蓄積して斑紋退縮が進んだと考えました。



# 東京農大OB教員通信

第2回

沖縄県立宮古総合実業高校  
城間朝輝 先生（畜産学科卒）

私は高校在学中、魅力的な授業を行う恩師に憧れ、「先生と同じ大学に行きたい」と思い東京農業大学農学部畜産学科へ入学しました。

入学後、教職課程や畜産関連の多くの専門資格の取得に積極的に取り組みました。大学卒業後は、臨時的任用教師として石垣島の八重山農林高校で勤務が決まりました。

教員1年目は、3年生の担任を担当しました。当時の生徒たちは教員1年目の私に、学校のルールや地域の事などたくさんのこと教えてくれて、右も左も分からなかった私にとって頼もしい「仲間」のような存在でした。私は、進路活動に熱心に取り組む彼らを見て、「早く1人前の教師になりたい」と考え、「同じ受験生」という思いで採用試験の勉強に励み、合格することができました。

教員生活9年目を迎えた現在、私は宮古島の宮古総合実業高校の生物生産科で主に養豚の授業を担当しています。これまでに、たくさんの生徒や先輩教師から多くの事を学び、最近では地域農業の課題解決に取り組む授業を実践できるようになりました。

宮古島では、令和2年に沖縄本島で発生した豚の感染症によって、沖縄本島から種豚の導入ができなくなりました。そこで、生徒たちは授業で学んだ「人工授精」の技術を活用し「島内で種豚を作出する」という目標を掲げ、約2年かけて「種豚作出」を実現させ地域農業の課題解決に貢献しました。

農業教諭は、作物や家畜、施設や機械の管理など多くの業務がありとても大変な仕事です。しかし、生徒と共に作物や家畜の成長を感じたり、試行錯誤しながら協力し合って食料に仕上げる過程は、他の校種では経験できない事です。

私は、栽培・飼育過程ででてきた課題について生徒と熱く語り合う時間が大好きです。生徒たちの色々な意見を聞いて笑い合ったり、感心したり、やる気が出たり、生徒の成長を実感しつつ、自分も成長している気がして嬉しくなります。

農業教諭を志すみなさん、農業は「食料生産」だけでなく人の「心」を豊かにする産業です。その「農業の魅力」を生徒と実感できるのは農業教諭の特権です。しかし、「農業の魅力」を伝えるには専門的な知識技術が必要不可欠です。ぜひ、大学在学中に専門的な知識技術の習得に励み、「農業の魅力」を生徒に実感させる授業ができる農業教師を目指してください。

# 教職課程研究室紹介

教育心理学研究室・鈴木聰志准教授

鈴木先生は1997（平成9）年4月に教職課程の専任教員として着任されました。当時の農大は世田谷の農学部と網走の生物産業学部の2学部体制で農学部は10学科を抱えていました。翌年農学部は、農学部、応用生物科学部、地域環境科学部、国際食料情報学部に改組、バイオサイエンス学科と生物企業情報学科（現国際バイオビジネス学科）が新設されました。その後も農学部の厚木キャンパスへの移転、生物科学部の新設、新学科の誕生など、本学の発展を目にしながら今日に至っています。教職課程の教員としては、介護等体験の開始、教員職員免許更新講習の開始、教育職員免許法改正によるカリキュラム変更などに関わってきました。教職課程では教育心理学、教育相談、生徒指導といった教職教養の中の心理学的な分野を担当しています。

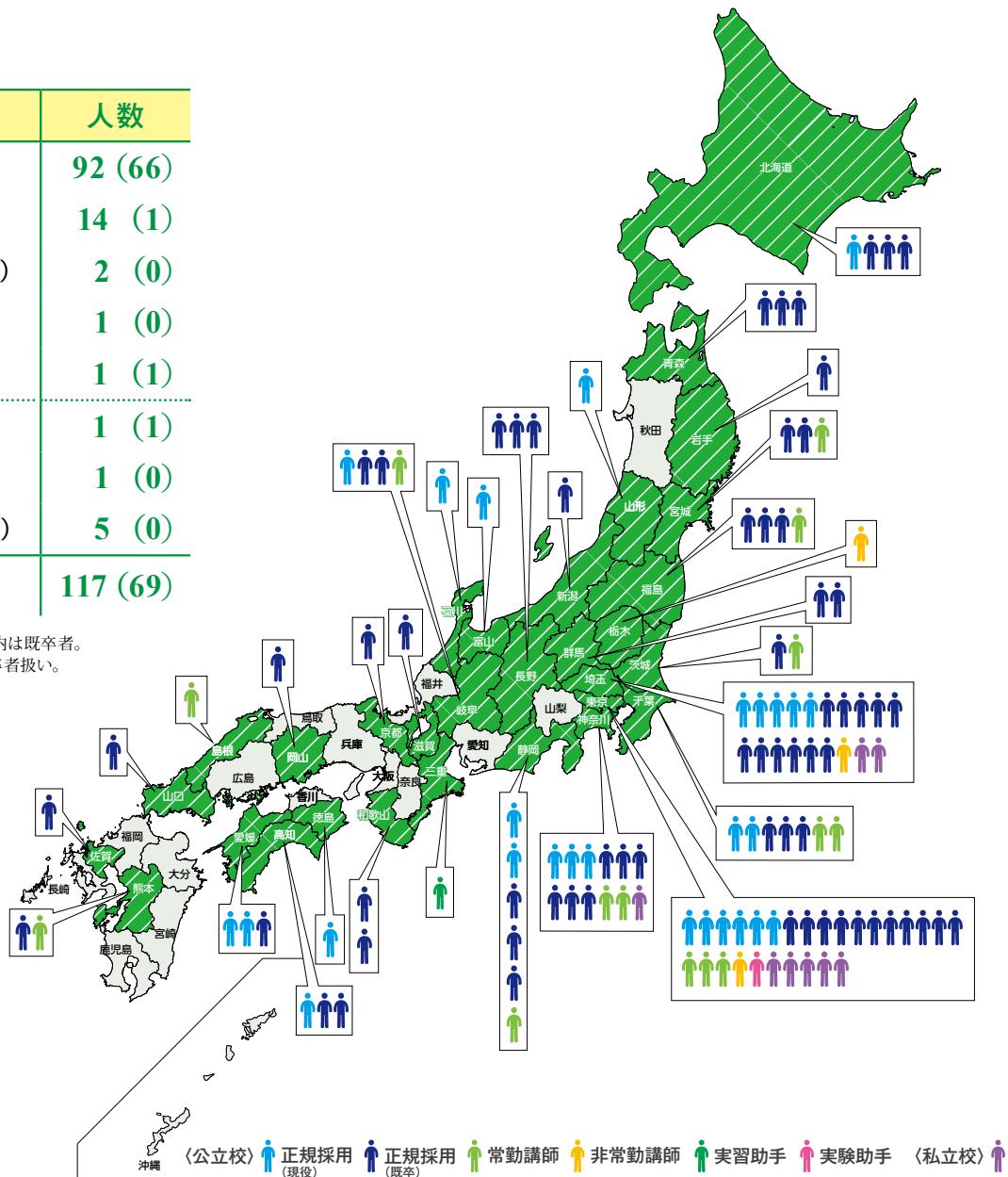
大学院では臨床心理学が専門でした。子どもの相談に関わっているうちに教育相談に近づき、それが縁で大学で教員養成に携わるようになりました。ですからもともとは実学志向だったのですが、本学に着任する頃から心理学の原理的な方面に関心が移り、心理学の方法論や歴史を研究するようになりました。方法論としては質的研究法に分類されるディスコース分析の入門書を書きました。それから質的心理学の辞典の編集に携わりました。心理学の歴史では、色覚検査の歴史と教育相談の歴史を調べました。今の学生は経験がないかもしれません、学校での健康診断を昔は身体検査と言っていて、その検査の一つに色覚検査がありました。色覚検査を開発した石原忍という眼科医が検査を開発する際に当時の心理学者達からの影響があったことを明らかにしました。教育相談の歴史では、わが国では戦前に教育相談施設が各地にあり、相談員が来談者にアドバイスをするという形式の相談が行われていたので、第二次世界大戦を境にアドバイス的な相談から治療的な相談に変化したという歴史観を提唱しました。心理学は理系から文系まで幅広い学問ですが、極端に文系寄りのことをしています。



# 令和5年度 教員採用者数&合格者の声

採用種別	人数
● 正規採用(公立)	92 (66)
● 常勤講師(公立)	14 (1)
● 非常勤講師(公立)	2 (0)
● 実習助手	1 (0)
● 実験助手	1 (1)
<hr/>	
● 正規採用(私立)	1 (1)
● 常勤講師(私立)	1 (0)
● 非常勤講師(私立)	5 (0)
<b>総計</b>	<b>117 (69)</b>

※令和5年4月1日現在。カッコ内は既卒者。  
※大学院生・科目等履修生は既卒者扱い。



※公立校正規採用合格者数の集計につきましては、  
全国の各教育委員会にご協力をいただきました。  
誠にありがとうございました。



## 埼玉県公立高校合格（農業）



農大的教職課程で学んでいく中で、教員になりたいという気持ちが高まっていくのを感じていました。大学3年の春から本格的に勉強を始めましたが、日々の積み重ねの大切さを痛感しました。皆さんも自分を信じて頑張ってください。

（農学科・令和5年3月卒）

## 富山県公立中学校合格(技術科)



指導に正解はありません。自分の理想的な教員像や恩師の姿を目標に教職の授業を頑張ってください。教育に対する理解を深めれば深めるほど、教育実習で見られる生徒の笑顔が増えるので、ぜひ前向きに教職課程に励んでみてください。

（森林総合科学科・令和5年3月卒）

## 埼玉県公立中学校合格（理科）



教職は、机上で学ぶだけでなく、現場に出て経験して学んでいくことも大切です。ぜひ色々な経験をしてください！その中で自分はどんな人になりたいのか、どんな社会にしたのかたくさん考えることで将来が見えてくると思います。

（国際農業開発学科・令和5年3月卒）

## 横浜市公立中学校合格（技術）



教員になろうかならないか悩んでいる人もいると思うのですが、難しく考えすぎないで、とりあえずやってみる精神もありだと思います。途中で路線変更も全然アリですし、色々自適にいきましょう。迷わずいけよ、いけばわかるさ！

（森林総合科学科・令和5年3月卒）

## 東京都公立中学校合格（技術）



教職課程をとったことで忙しい日々を送ることになっていると思います。しかし、その経験はとても大切で、一生の宝になります。遊べる時に遊ぶことも大事です。残りの大学生活、遊ぶことにも集中してください。頑張ってください。

（森林総合科学科・令和4年3月卒）

## 静岡県公立高校合格（農業）



人より履修が多く大変な面もあります。ですが、自分のやりたいことを全力でやっていれば、充実した大学生活が送れます。それが採用試験にも活きてくるので、まず目の前のことを全力で楽しんでください。

（国際食農科学科・令和5年3月卒）

## 千葉県・千葉市公立高校合格（農業）



教職はすごく厳しい道のりですが、良い仲間とともに切磋琢磨しながら乗り越えていってください。教師を迷っている方は覚悟を決めること、教師以外の道でも教職の経験はどこかで役に立つ、自分の考えを深めることが第一歩です。

（農学科・令和5年3月卒）



## 埼玉県公立高校合格（農業）



4年間で、農業の専門知識と教育について学ぶことができました。自分がどんな教員になりたいのか、はたまたどんな人生を送りたいのか、じっくり考えて自分の思うように進路選択してくださいね！一緒に働くことを楽しみにしています。

（国際農業開発学科・令和5年3月卒）

## 徳島県公立高校合格（農業）



目指したのなら一直線に突き進むが大事だと思います。何を思い、何のために学ぶのかという自分の考え方を持ち、それを大切にしてください。沢山の努力が必要ですが、その分結果を示してくれます。夢に向かって頑張ってください！

（デザイン農学科・令和5年3月卒）

## 静岡県公立中学校合格(特支・理科)



大学生活やアルバイト・教育実習などで出会う様々な方々との関わりを大切にし、多くの事を学んで下さい。きっと自分自身を成長させてくれます。また、新しい環境を恐れずに興味を持った事柄には思い切り挑戦してみて下さい。応援しています！

（分子微生物学部・令和5年3月卒）

## さいたま市公立小学校合格(栄養教諭)



栄養学科の授業と教職課程の勉強の両立は、勉強時間も少なくなってしまいとても大変でした。しかし、理想とする教師像を強くイメージすることで、そこを目標として頑張ることができました。自分のなりたい教師像を目標として強く持つて、頑張ってください。

（栄養科学科・令和5年3月卒）

## 岐阜県公立高校合格（農業）



私は元々教員を志望していましたが、教育実習に行き、より明確なビジョンをつかむことが出来ました。机上での学習だけでは得ることのできないことが経験できます。そういった実践的な学びをたくさん経験し、より明確なビジョンを持って、教職課程の仲間と切磋琢磨し、頑張ってください。

（農芸化学科・令和5年3月卒）

## 相模原市公立中学校合格（技術）



教員を目指すうえで、大学生活における様々な経験や学びが大きく役立っていきます。そのためまずは、日々の生活を全力で楽しみたくさんのことを吸収して自分の糧としてください。そうすれば、自然と教員への道を開けていくと思います。応援しています！！

（森林総合科学科・令和5年3月卒）

## 私立中学・高校（理科）



私は私学出身なので、私学中高の教員を志していました。そこで私学教員を目指すにあたって、専門性を高めるために大学院に進学しました。農大の実学主義に基づいて、実際に最先端の研究を体験したことで、奥深い授業を作る力が養えました。私学教員になりたい人は、まずは自分が理科の面白さを感じ取りましょう！

（バイオサイエンス専攻・令和5年3月修了）

## 令和5年度 教職課程世田谷・厚木キャンパス 主な年間スケジュール

- 新入生へのガイダンス<4月～5月>
- 教育委員会担当者による採用説明会（学内）<4月～5月>
- 学校ボランティア説明会<4月～5月>
- 教育実習生の派遣<5月～11月>
- 新入生（1年次生）教職課程履修申し込み<6月>
- 介護等体験への派遣<3年次 7月～2月>
- オープンキャンパス<8月5日(土)・6日(日)>
- 夏季若手教員研修会の開催<8月実施予定>
- 教員採用試験対策講座の開催（世田谷・厚木キャンパス）<9月～翌年8月><講座全29回、模擬試験3回予定>
- 教育研究フォーラムの開催（世田谷キャンパス）

## 令和5年度夏季若手教員研修会

日 時：令和5年8月11日（山の日・祝日） 13:00～16:00

場 所：（技術科）東京農業大学世田谷キャンパス7号館1階木工室

講 師：東京農業大学教職課程 實野雅太

研修内容：（技術科）生物育成とプログラミング：生物育成とプログラミングを複合した教材のワークショップを行います。

※ 詳しくは、東京農大ホームページをご覧下さい。

## 第25回 東京農大教育研究フォーラム

開催日時：令和5年11月25日（土）

開催場所：世田谷キャンパス 横井講堂

講演者及び講演題目：東京農業大学教職・学術情報課程教授 山口 晃弘 「新しい理科授業」

共催：東京農業大学教職課程／全国教職員部会連絡協議会 後援：東京農業大学校友会／東京農業大学教育後援会

※ 詳しくは、東京農大ホームページをご覧下さい。

## 東京農業大学教職課程・社会科教育講師陣・新刊・既刊案内

鈴木斎彦先生『新しい高校教科書に学ぶ大人の教養 地理総合』☞ A

（宮路秀作監修、鈴木斎彦・株式会社エデュコン著、秀和システム、2022年8月、¥1500+税）

2022年4月から50年ぶりに地理が必修化されました。「地理総合」では「地理情報システム(GIS)」と「防災」が大きな柱となっていますが、どのように教えたらよいか悩んでいる先生も多いようです。「地図を知ろう」「日本の自然災害とその対策を知ろう」「日本と世界のつながりを知ろう」「国際協力を考えよう」など、より深く「地理総合」を学びたくなる本です。

藁谷哲也先生『カンボジア研究－その自然・文化・社会・政治・経済－』☞ B

（石川晃司・大塚友美他著、文眞堂、2019年、¥2400+税）

カンボジアの持続的発展を願う10名の研究者による「カンボジア研究」の必読書です。藁谷先生は第1章「自然環境と石造文化遺跡の共存」でモンスーンの影響を受けるカンボジアの石材風化速度を把握し、樹木伐採による石材の高温化と乾燥化という弊害を明らかにしました。

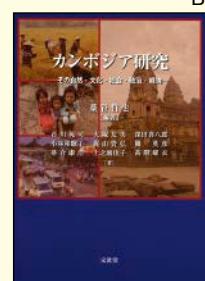
野澤隆一先生『戦国期の伝馬制度と負担体系』☞ C

（戦国史研究叢書18、岩田書院、2019年6月、¥6800+税）

本書は戦国時代の専門家である野澤先生が教員として長年教鞭を取る傍ら、丹念に書き上げた研究の集大成です。伝馬制度と負担体系という二つの切り口から、戦国期の社会変動を実証的に明らかにしたもので、後北条氏、今川氏、武田氏、朝倉氏らの戦国大名が取り上げられています。



A



B



C

東京農業大学教職課程

<https://www.nodai.ac.jp/academics/edu/>

東京農業大学教職課程 Annual Report [令和5年度版] 世田谷・厚木キャンパス編

東京農業大学教職課程

No.9 2023年4月24日

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

編集人 熊澤恵里子・實野雅太

e-mail:kyosyoku@nodai.ac.jp



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

東京農業大学は持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け貢献しています。